

# 外来生物対策で緊急に取り組むべき課題

## 「外来生物対策ビジョン」と「外来生物データブック」の作成



外来生物問題はあらゆる部局に関連し、全県的に対応すべき課題である

外来生物問題に対して、県の事業として対応するためには、1) 意思決定や判断の材料となるデータや指針を示した「外来生物データブック」の作成、2) 外来生物への組織的かつ包括的な対応策を記した「外来種対策ビジョン」の策定が不可欠となります。外来生物問題は、複数の部局に関係し、利害対立が複雑な問題であるため、明確な科学的根拠を要します。今回の報告では、データブックの礎となる資料を提示し、緊急対策が必要な外来生物の概況とあるべき体制を記した。

表. 特に緊急対策が必要な外来種に関する状況等の一覧（詳細は報告書を参照）

種名	被害と影響			有益性	利害対立	生息・生育場所	分布状況	対策	備考
	健康と安全	農林水産業	生態系						
<b>動物</b>									
アライグマ	衛生	○	○	ペット	○	森林、農耕地、市街地	全県(拡大中)	有害捕獲	
ヌートリア	危害	○	○	—	—	河川、池沼、農耕地	全県	有害捕獲	
カミツキガメ	危害	—	△	ペット	—	河川、池沼	阪神・姫路	有害動物指定	自然繁殖は未確認
ミシシippiacamigame	衛生	—	△	ペット	—	河川、池沼	全県	?	対処部局、処理システムが不明
オオクチバス	—	○	○	レジャー	○	河川、池沼	全県	駆除	水産業被害の対策が実施されている
ブルーギル	—	○	○	レジャー	△	河川、池沼	全県	駆除	水産業被害の対策が実施されている
コクチバス	—	○	○	レジャー	△	河川、池沼	?	駆除	自然繁殖は未確認
<b>植物</b>									
ハリエンジュ	—	—	○	緑化と治山	○	森林、河川敷、公園	全県	利用制限	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)
イタチハギ	—	—	○	緑化と治山	○	森林、河川敷	全県	利用制限	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)
シナダレスズメガヤ	—	—	○	緑化と治山	—	森林、河川敷	全県	利用制限	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)
トウネズミモチ	—	—	○	緑化	○	森林、河川敷、公園	全県	利用制限	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)
ナンキンハゼ	—	—	○	緑化	○	森林、河川敷、公園	全県	利用制限	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)
ホテイアオイ	—	—	○	鑑賞	○	池沼・水田	全県	利用制限	
ボタンウキクサ	—	○	○	鑑賞	○	池沼・水田	全県	利用制限	
アレチウリ	炎症	○	○	—	—	河川敷、市街地	全県	駆除	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)
オオブタクサ	炎症	—	○	—	—	河川敷・市街地	全県	駆除	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)
セイタカアワダチソウ	—	—	○	—	—	河川敷、市街地	全県	駆除	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)
ネズミムギ	炎症	—	○	—	—	河川敷、市街地	全県	駆除	この他に同様の種類が含まれる(資料参照: p.60~)

表中記号 ○：関連あり、△：やや関連あり、—：関連なし

掲載した種類以外にも多数が報告されている（兵庫県では、動物33種、昆虫75種、植物272種以上が確認）

## 「外来生物対策ビジョン」の作成に向けた当面の対策

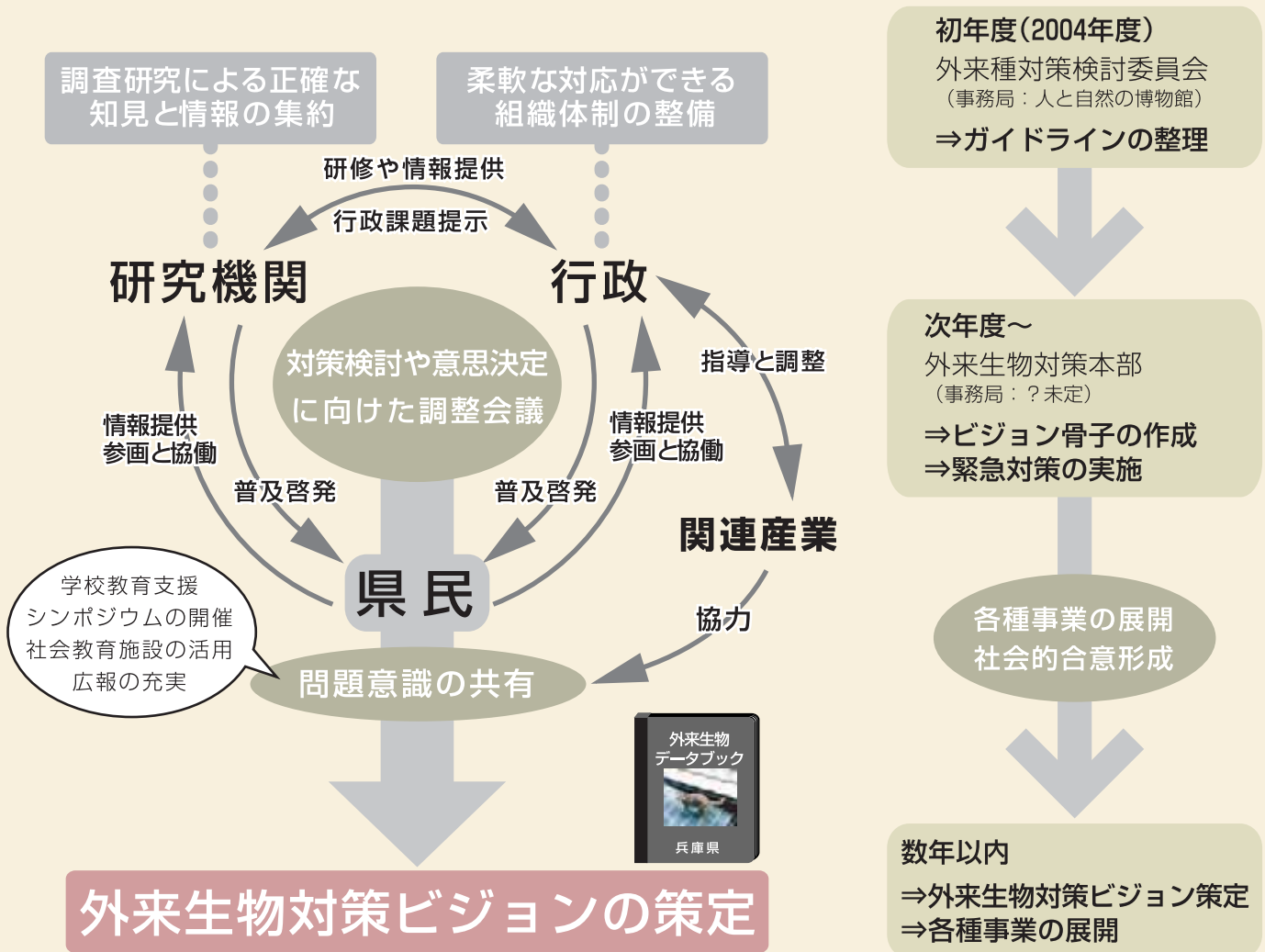


海外では外来種への注意を喚起するリーフレット等が充実している

当面の対策として、各部局で実施が期待される事業内容は以下のとおりである。特に、各部局間の連絡調整は今後の対策を検討する上で重要な事項である。

- 外来生物対策検討委員会の継続
- 普及啓発と職員研修の実施
- 調査研究の拡充と情報の集約化

## 外来種問題を解決するための役割と今後の方針



## ひとつはくの役割



- 1) 科学的な根拠に基づく政策支援
- 2) 外来生物の駆除や対策提言のための受託研究の実施
- 3) 外来生物対策に関する館内研究の重点投資（総合共同研究）
- 4) 外来生物の分布情報のデータベース化と情報提供
- 5) 企画展示や移動展示（キャラバン）を通じた普及啓発
- 6) セミナーや講座を通じた専門知識の提供とリーダー育成